

# マクロ学会通信

2013年10月 No.257

## 報 告

### ■ シンポジウム 2013 が盛会裏に終了しました

2013年9月7日(土) 14:00~17:30 拓殖大学文京キャンパス国際教育会館にて、日本マクロエンジニアリング学会シンポジウム2013が開催され、盛会裏に終了いたしました。

#### 講演1

1. 東日本大震災における岩手県を事例とした「参加型復興(開発)の手法と理念」その3 新田義修(岩手県立大学 総合政策学部 准教授)
2. 茨城県での有機農業を踏まえた福島県二本松市での有機農業支援について 魚住道郎(NPO法人日本有機農業研究会副理事長)

#### 講演2

3. 復興教育支援事業の意義と今後の課題について 劉庭秀(当学会理事、東北大学大学院国際文化研究科准教授) 齋藤優子(東北大学大学院生)
4. 「日本のグランドデザイン」 新田義孝(当学会会長 四日市大学特任教授) なお、今回のシンポジウムでは、ポスターセッションもおこなわれました。

優秀ポスター賞に齋藤優子会員(東北大学大学院生)が選ばれました。おめでとうございます。

## お 知 ら せ

### ■ 2013年度日本マクロエンジニアリング学会年次研究大会

以下の日程にて2013年度日本マクロエンジニアリング学会総会を開催いたします。

1. 日 時: 2014年3月15日(土)
2. 場 所: 拓殖大学(文京キャンパス) 尚、詳細は決まり次第ご連絡いたします。

### ■ 2012年度 第3回理事会

1. 日 時: 2014年3月15日(土)
2. 場 所: 拓殖大学(文京キャンパス) 尚、詳細は決まり次第ご連絡いたします。

### ■ 合同研究会のお知らせ

日本マクロエンジニアリング学会・合同研究会(未利用資源、水資源、プロジェクト研究)を下記の要領で開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時: 2013年10月31日(木) 17:30-19:00
2. 会場: 横浜ランドマークタワー25階、ビジネスサポートフロアー、(会議室番号は、当日同フロアーに掲示されます)
3. 交通: JR桜木町駅下車、徒歩と動く歩道で7-8分
4. テーマ: 「国連レポートの12 Sustainable Development Goals」に関連し、以下について;

話題提供者: 角田 晋也氏、本学会理事  
(独)海洋研究開発機構 地球情報研究センター データ技術開発運用部 調査役

- (1)地球環境情報統合プログラム DIAS-P の概要の紹介
- (2)DIAS(の各研究実用化プロジェクト)の評価方法
- (3)国連総長が Panel (国連総長の指示を受けて調査・取り纏めする委員会)に提出させた報告書
5. 内容

先進国では、生活の質(quality of life)の向上が究極の目標になり、その為に持続的な経済成長が目先の目標になり、さらにその為に防災等のリスクマネジメントがさらに目先の目標になるという優先順位であるが、世界全体で見ると、究極の目標は貧困の底上げであってその為に健康・衛生状態の改善が目先の目標になるというように優先順位が異なってくる。

連絡先: 北見辰男(070-5080-4271)、e-mail: kitamictc@kxd.biglobe.ne.jp

### ■ 安田八十五会員(理事)から公開研究会のお知らせ

環境経済・政策学会: 環境関連の会合情報: いつもお世話になっております。

1. 日時: 2013年(平成25年)11月30日(土) 午後14時-16時
2. 会場: 関東学院大学金沢八景キャンパス・フォアサイト 21棟7階キリスト教と文化研究所会議室
3. テーマ「ドイツのキリスト教界における環境問

題への取組」を開催します。内容は下記をご参照ください。是非ご参加をお願いします。

#### 4. 内容

「ドイツでは通常、毎年交互にカトリックとプロテスタントの大会が開かれますが、今年（2013年）は5月にプロテスタント教会大会がハンブルク市で開かれました。そこでは環境問題がテーマにおいても運営においても主要な柱の一つでした。そこから、ドイツのキリスト教界における環境問題の位置づけについて考えてみたいと思います。」

今回の研究会の講師・木村護郎クリストフ先生は、上智大学外国語学部教授ですが本年度10月1日から関東学院大学キリスト教と文化研究所客員研究員に就任していただきました。木村先生は、昨年夏から今年秋まで約1年間ドイツで海外研修を行われました。その研究成果を発表していただき、参加者全員で「環境問題とキリスト教」に関して考えて見たいと思います。

#### 5. 連絡先

安田八十五 Dr. Yasoi YASUDA, Marco  
環境政策学者（工学博士）  
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東 1-50-1 関東学院大学経済学部教授  
キリスト教と文化研究所研究員（「依存症と環境神学」研究グループ代表）

#### ■富山和子会員からカレンダー販売のお知らせ

「日本の米カレンダー—2014年版ができました。25年目です。創刊は1990年版。これを始めたのは米の市場開放を目前にしての危機感からでした。そして今、さら大きな怪物—原発やTPPとの戦いです。」（富山和子）

富山和子会員（立正大学名誉教授）は第22回（平成24年）みどりの文化賞を受賞されました。その賞の選定理由にあるように、富山会員の研究は、水と農林業に係る社会科学と自然科学の双方からの幅広いアプローチを特徴とし「富山学」とも言われています。

2013年8月には『水の文化史』『水の旅』（中公文庫）が刊行され、これまでに刊行された『水と緑と土』、『日本の米』（中公新書）と合わせ、「富山和子の水の4部作」が完成いたしました。

『水の文化史』は、1980年に刊行されましたが、今回、文庫版となって社会に研究成果が還元されたことは、学会としても大変名誉のことです。このことは、日刊工業新聞（2013年9月16日（月）誌面）にもすでに取り上げられました。

今回ご紹介いたしましたカレンダーは、多くの審議会委員等、政府の要職も務められた第一人者監修によるカレンダーということもあり、すでに国連や米国、EUはじめ、主要国要人からも購入依頼が届いております。ご関心のある方は、以下にお問い合わせくださいませ。

【問い合わせ先】  
水の文化研究所

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶 3-2 ニュー  
神田ビル国際カレンダー内  
TEL 03-3252-8531

#### ■小柳久江会員からカレンダー販売のお知らせ

私が発掘して、日本の代理人をしているニュージーランドの環境アーティスト Martin Hill は地球環境の危惧を、アート制作を通じて長年、訴え続けています。

マーティン・ヒルは「すべての生命は、地球という、かけがいのないサークル（円）の中に生きている。だから私は、自然に回帰する自然の素材でサークルをモチーフにした彫刻をつくり、写真を通じて自然保護をメッセージしています。」と申しております。

実は、13年間長期にカレンダーで使っていた某企業が今年限りとなり、来年度のカレンダーは、私が自費出版しようと思立ちました。そこで、2014 MARTIN HILL オリジナルカレンダーを作りましたので皆様にお知らせいたします。下記ホームページでもご紹介しています。

<http://www.h-and-k.jp/>

注文数・お名前・発送先住所・ご連絡先電話番号をお書きになってメールにてご連絡くださいませ。代金振り込み先などを記した、「ご注文確認メール」をお送り申し上げます。

#### 【問い合わせ先】

クリエイティブ プロデューサー 小柳久江  
H&K事務所  
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 3-24-1-414  
TEL&FAX 03-5313-0725  
メール：hisae\_koya@kdr.biglobe.ne.jp  
携帯 090-4536-5405

●環境アーティストMartin Hill 日本代理人  
<Martin Hill 日本公式ホームページ>  
URL：http://www.h-and-k.jp/

（注）環境アーティストのMartin Hill 2014カレンダーがアマゾンでも購入することができるようになりました。

追記（事務局より）：事務局ではカレンダーの取り扱いをいたしておりませんので、各【問い合わせ先】にお尋ねください。

年次研究大会等では、実物展示を行いたいと考えております。大学内での販売は禁止となっておりますので、ご了承くださいませ。

#### 事務局より

##### 1. 次年度の行事予定に関して

現在、理事会にて、次年度の行事を検討しております（以下日程、会場はすべて予定です）。

##### (1) 総会

日程 2014年6月7日（土）

「大来佐武郎先生・生誕100年シンポジウム  
(仮)」を開催する予定で考えております。

会場 東京大学

(2) シンポジウム

日程 2014年11月8日(土)

他学会との共催を検討中です

会場 拓殖大学

(3) 年次研究大会

2015年3月中旬(土)

会場 拓殖大学

## 2. 会費納入のお願い

また、引き続き会費納入にご協力くださいませ。  
過年度分を振り込まれる際には振込用紙の通信欄  
にその旨ご一筆いただけますと幸いです。